

新 刊 紹 介

宇宙の探究 —新しい宇宙像の創造—

小田 稔著

(中央公論社, 中公新書, 新書版 198 ページ, 250円)

厚い大気におおわれた地上から, 光の窓を通してしか観測されえなかったかつての天文学とは異なり, 現在では光はもとより, 電波, 赤外, 紫外, X線, γ 線と幅広い波長域に拡がり, 観測手段も地上をはなれ, パルーン, ロケット, 人工衛星へと発展した. その上宇宙線を始めとする粒子を情報手段とする天文学も加わり, 今や宇宙の姿は各方面から総合的に追求されつつある.

本書は“星の進化”, “銀河系の構造”, “宇宙と宇宙線”, “X線天文学の誕生”, “パルサー中性子星”, および“火の玉宇宙の残照”の6章からなり, 最近天文に話題となっている問題をほとんど網羅している. 新書版の限られたスペース内で手広く問題を扱っていくと, ともすれば羅列的になり易く, 天文学の各分野が深く結び合っている姿を十分描けなくなってしまう. この点総合的にまとめあげようとした著者の苦心の跡がよくうかがえる. 光の面からのアプローチに不足のあることは著者もことわっているが, そのことが少しも現在の天文学を描くのには煩いとなっていない.

本書の特色の一つは, 天文学に研究者あるいは研究者グループがいかに関与してきたかを具体的に扱っている点である. とりわけ読者は, 我が国の研究者がいかに関与してきたかの一端を知ることによって大きな興味をおぼえることであろう.

著者はX線天文学の草分けの一人である. 日本におけるX線天文学が今日に至った過程での, 苦心や問題点あるいはどのような特色を持っているかを, 著者の立場に立って大きく取り入れていったら, もっと血の通ったものになったのではないかと思われる. (田原博人)

宇宙の構造 E.L. シャツマン著, 小尾信弥訳

(平凡社, 世界大学選書, B6版, 282ページ, 550円)

多くの天文書は星や惑星からはじまるが, 本書では銀河からはじまる. 星は本書ではその進化などを通じて, 銀河や宇宙を知るための道具にしかすぎない. もっと読んでいくと, 銀河(この本では「星雲」とよんでいる)や, 準星などまでが, 宇宙とはどういうものかを知るための道具にしかすぎないことがわかる.

本書は, 序章, 銀河系, 時間, 空間と星雲, 宇宙の5章よりなり, 銀河系からはじまって宇宙全体へと筆が進められる.

内容としては, 星の進化の新しい理論, 準星や電波星雲, 3°K バックグラウンドなど, 最近の観測結果, 研究

1970 年に発行された主な天文関係書

	著者・編者	訳者	頁	価格
講談社	宇宙空間を開く		222	250
岩波書店	宇宙線研究		230	230
東京大学出版会	低温度星のスペクトル(英文)		150	1800
恒星社厚生閣	星座の親しみ		100	500
共立出版	宇宙をつくる元素	I. アシモフ 崎川範行	300	680
恒星社厚生閣	現代天文学事典(三訂新版)	荒木俊馬	800	4800
"	変光星図	五味一明	200	1000
"	宇宙物理学	荒木俊馬	250	1200
裳華房	宇宙空間物理学	大林辰蔵	480	2600
恒星社厚生閣	太陽黒点の観測	恒星社厚生閣	180	1000
共立出版	宇宙I—太陽系から星雲まで	I. アシモフ 小尾信弥	220	500
恒星社厚生閣	天体観測データブック	東亜天文学会	200	1000
平凡社	宇宙の構造	E.L. シャツマン 小尾信弥	300	550
共立出版	ポアンカレ常微分方程式	ポアンカレ 浦太郎 福原満洲雄	440	2800
中央公論社	宇宙の探究	小田稔	198	250
東京化学同人	化学進化 —宇宙における生命の起源—	M. カルピン 江上不二夫他	332	1500
コロナ社	ソビエト宇宙計画を探る	シェルドン二世 石橋一郎	230	680

ただし価格には予価が引用されているものがある.

成果をまとめ「独自の見解を加えて」（本書より引用）
宇宙論を展開している。もっとも「最近の結果」といっ
ても、日進月歩のこの分野にしてみればすでに多少の古
さがみられることは仕方のないことであろうか。（1967
年頃の基準とみてよい）

最新の内容、宇宙論、といった題材から「息をもつか
せず読者を引張ってよませる」ということを想像される
が、逆に、書き方はかなり手堅いもので、興味をもたせ
るというよりはむしろ勉強させるといった感じのよみご
たえである。しかし、本書のボリュームから想像されるよ
うに、教科書のようなキチンとした記述は無理で、ある
程度中途半端なものになってしまっている。

個々の事実、その意味などがある程度つかんでいる人
が、シャツマンというえらい人のまとめた意見をみると
いう意味では読めるだろう。

記述に少々もたもたしたところ、わけのわからないと
ころ、まちがったところなどがみられるが、原文のせい
であろうかそれとも訳のせいであろうか。本書の価値を
損うものではない。 (森本雅樹)

学会だより

東京大学理学部天文学教室公募

下記により公募いたします。希望者の応募、適任者の
推薦をお願いいたします。

1. 公募人員……助教授1名
2. 専門分野……天 文 学
3. 就任時期……昭和46年4月1日の予定
4. 提出書類……履歴書、研究論文リスト、推薦書
(他薦の場合)
5. 締切期日……昭和46年1月20日
6. 宛 先……(〒113) 東京都文京区弥生2-11-16
東京大学理学部天文学教室主任

末元善三郎

第2回宇宙電波将来計画シンポジウム

期日 3月中旬 2日間

場所 愛知県民の森

議題 ① 干渉計について

② 45m 望遠鏡について

主催 宇宙電波懇談会

詳細は、宇電懇ニュース参照または東京天文台内、宇
電懇事務局まで。

●最も権威ある科学のデータブック!

理科年表

A 6・八六〇ページ/五七〇円

46年版

科学知識として日常に必要ないろいろな定数、資料を暦・天文・気象・物理化学・地学の各分野にわたって完全に集約した権威ある書で、中・高校・大学生の学習に、理・工・農・薬・医の諸分野の関係者、研究者、技術者の実務に活用される実用データブック。

◀**主要内容**▶ 暦部/天文部(太陽系/恒星/雑)/気象部/物理化学部(単位/元素/物性/熱/音/光/電磁気/原子/分子/原子核/雑)/地学部(地理/電離層/地質及び鉱物/地磁気及び電力/地震)付録

M 丸善

東京・日本橋/振替東京5番